

本編
58P

娘のパパ活を
終わらせるため

母がねえちゃんを

娘の
パパ
活を

終わらせるために

母がでかい。



一宮沙苗 34歳
旦那が他の女性と
出て行ってから
1人で娘を育ててきた



ちひろの母です

今日は娘の頼みで
ここにいます

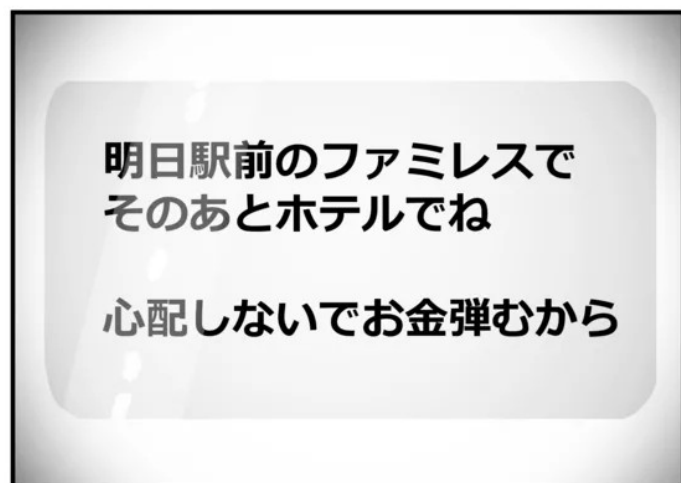
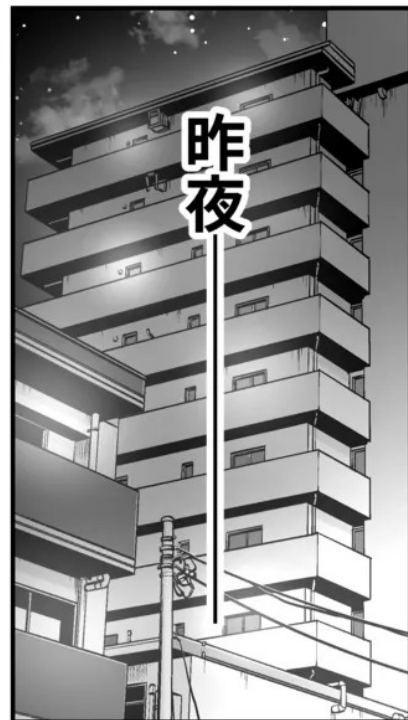
私の大切な
1人娘を守るために



お待たせ



ちひろちゃん…
じゃないですね



バイトしようと
友達に相談したら
教えてくれて

皆やってるって
言うから少し前に
始めてんだけど...

ファミレスじゃなくて
ホテルで会わない？

お小遣い弾むからさ？

え...

最近ホテルに
誘われてて...

私聞かれた事とか
正直に話しちゃって

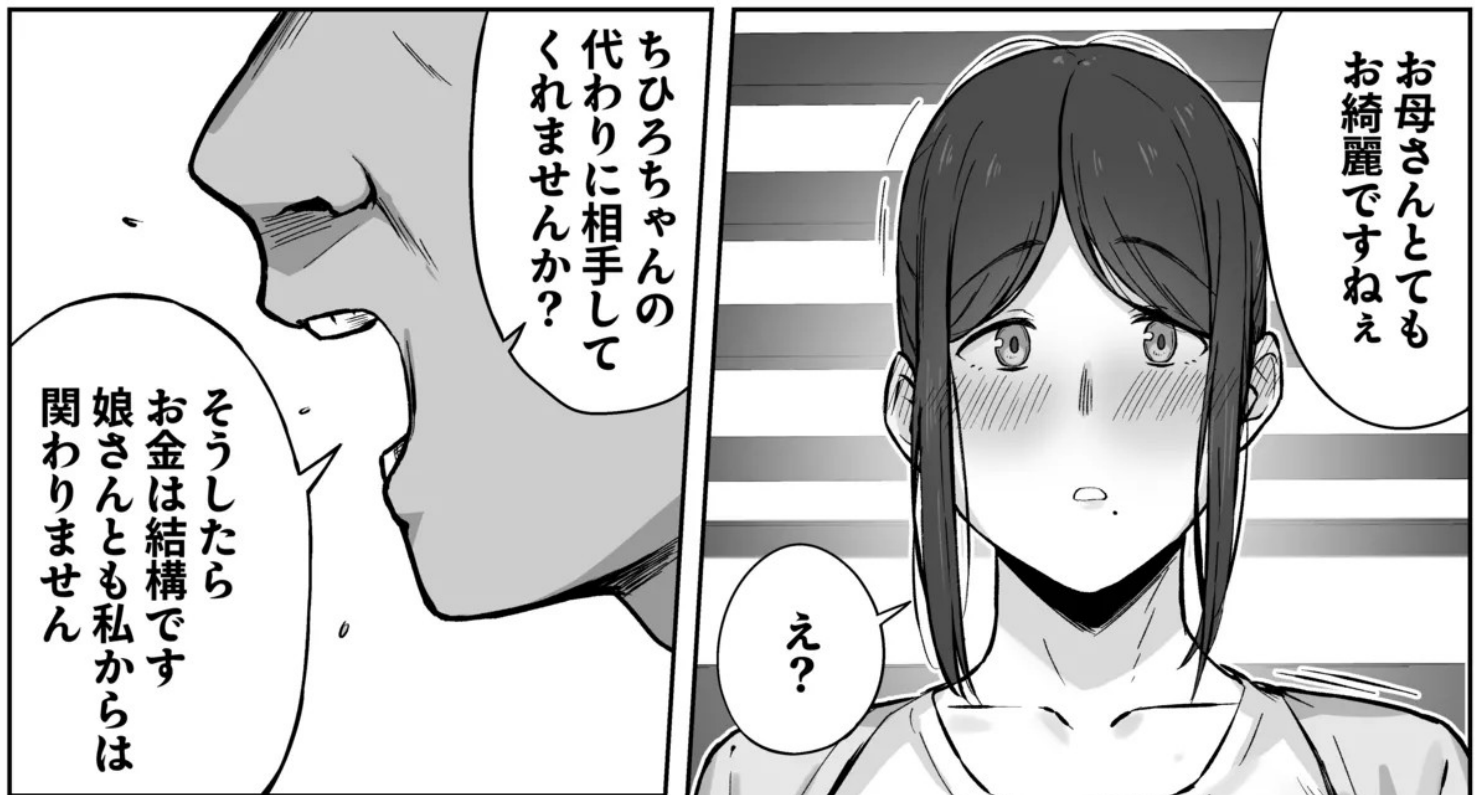
お母さん
どうしよう...

名前とか学校とか
個人情報...

泣かないの

大丈夫よ
私が断ってくるから





ちひろの個人情報を知られてるし
もし断つたら……

でもこんな
人……

娘をだました
人……

お母さん
どうしよう……

……

でも……
私がい慢すれば

ほ、本当に娘とは
関わらないんですね？



ちひろのためなら
このくらい……

あの……
下着は……

いえ、そのままで
いいですよ

……
そうですか……

……

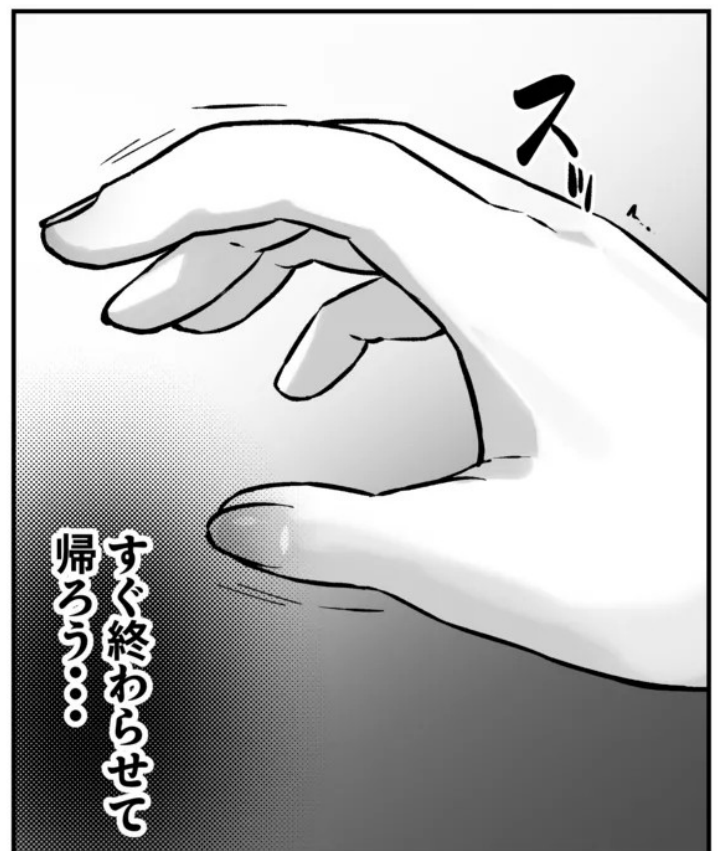
早速ですが

お願いしても
いいですか？

すみません
あまりにもお綺麗で

いいえ……

……はい





っ…旦那さんが
うらやましいですね

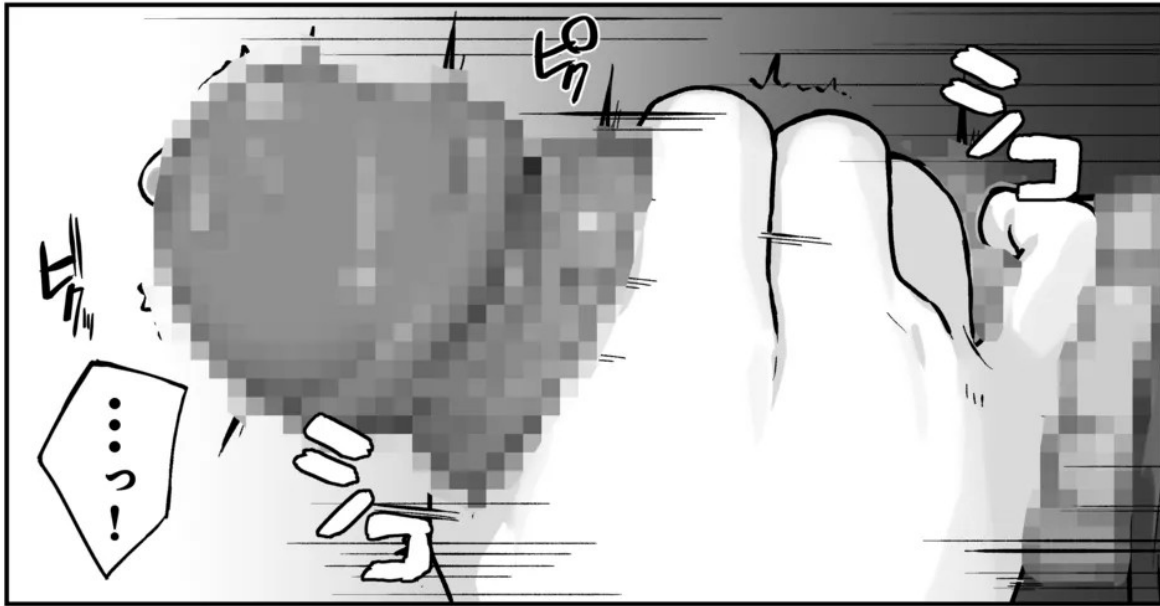
…いえ
旦那は出て
行ったので…

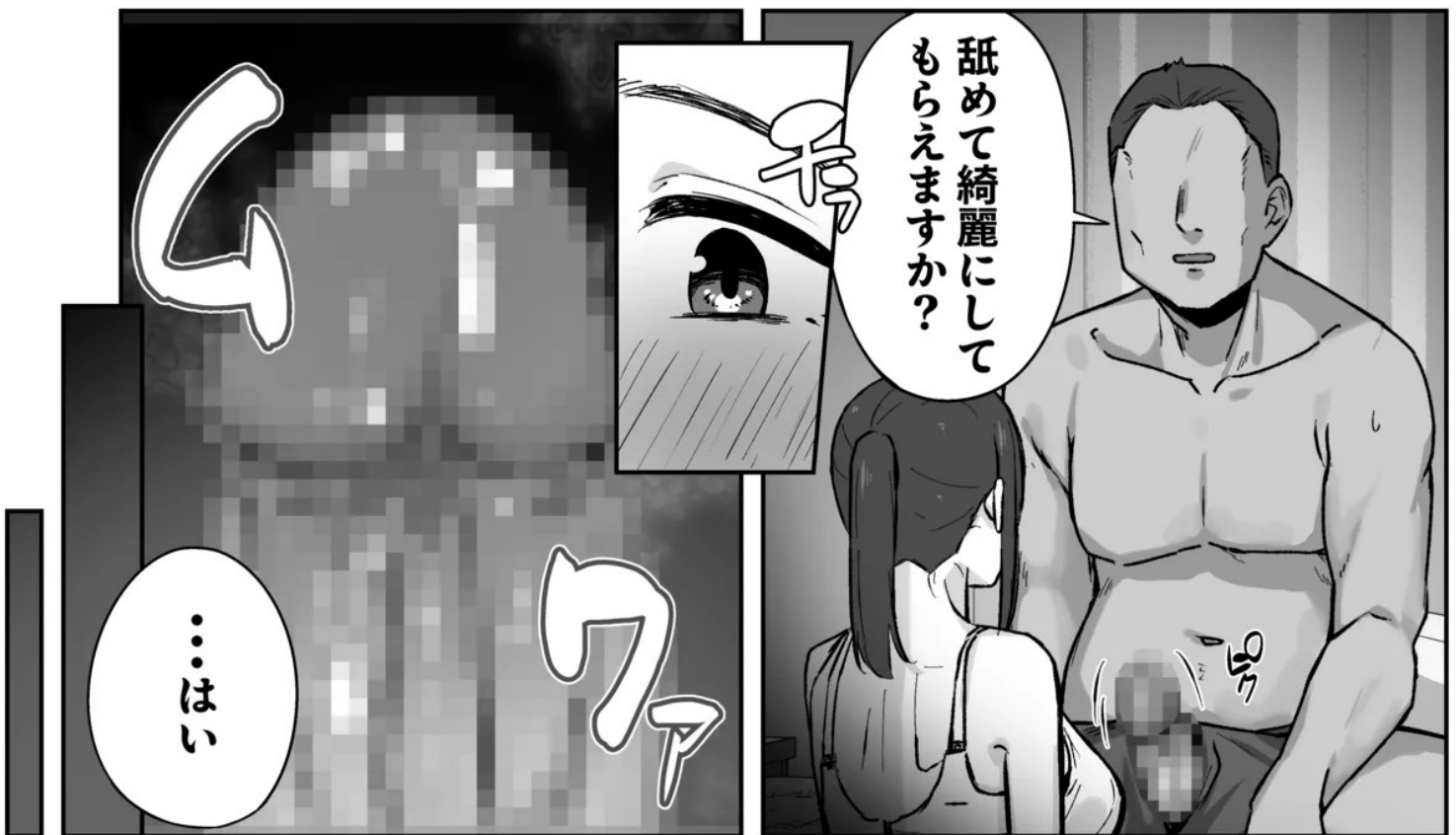
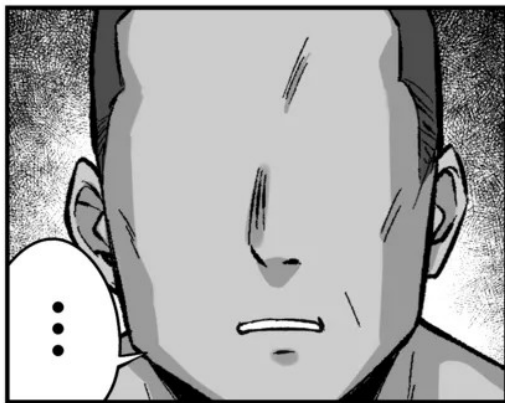
こんな綺麗な女性を
ほっておくなんて…

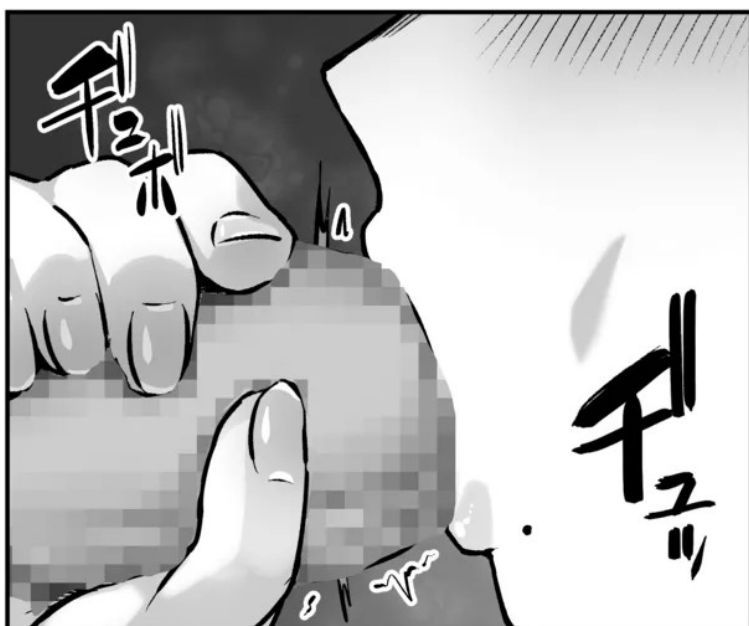
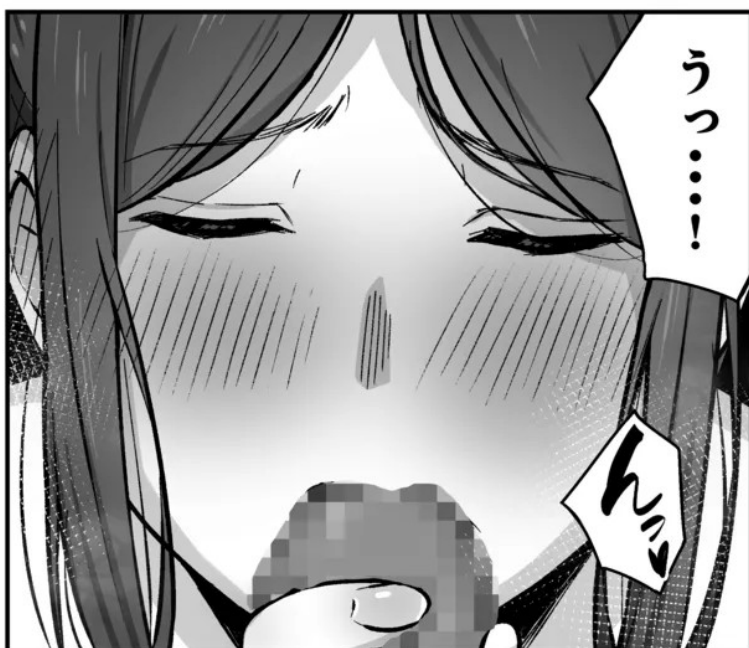
そんな、
お綺麗ですよ

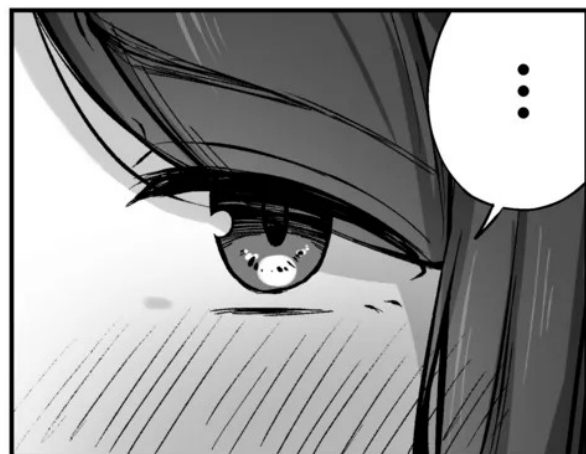
いいえ…
私なんて…

…









セックスなんて
何年ぶりだらう...

えっと...
この後は...

それが
娘をだました
人なんて...

どうして
こんなと...

これじゃまるで
求めてるみたい...

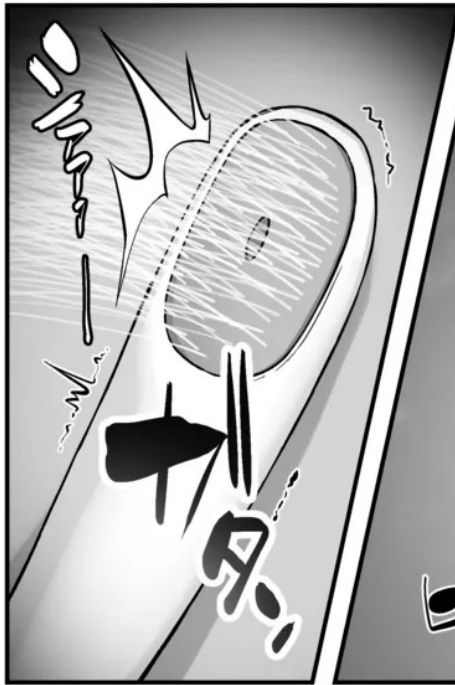
あのお母さん？

あふれて
くるの...









この日以来
うづく体を一人で
慰める日々が続いた

どんなに一人で
慰めても、満足する
ことはなかった

旦那と別れて以来
忘れていた女の欲求が
私をおかしくする……

—そんなある日—

お母さん私
予備校のために
バイト始めるね

え？

心配しないで！

まじめに働いて
稼ぐから大丈夫！

実際女手独りでは
限界があったし、
ありがたい言葉だった

そんな
大丈夫よ

そのくらいのお金ならあるから

勉強、
頑張りなさい

でも、自分の経済力が
原因で娘に無理を
させるのが嫌だった

そう言い訳を並べながら
あの人に会う口実を
探していたのかもしれない。

…わかった
勉強頑張るね！
ありがとう！

無理しちゃ
ダメよ

大事な一人娘の
純粋な言葉が
胸に刺さる…

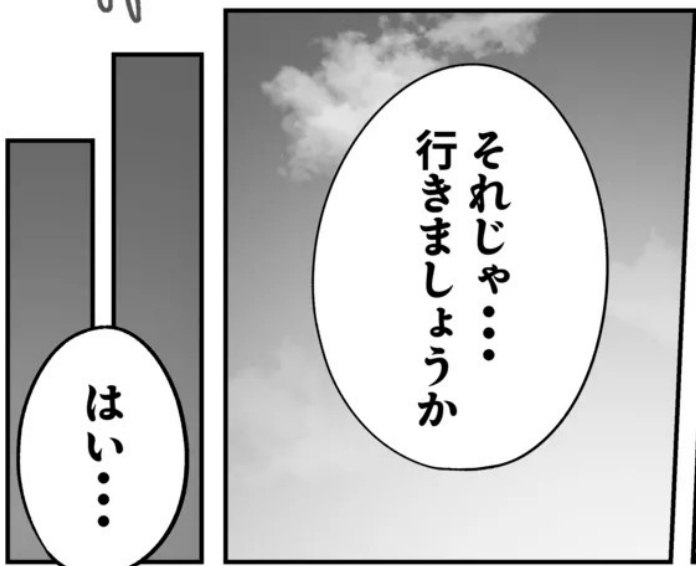
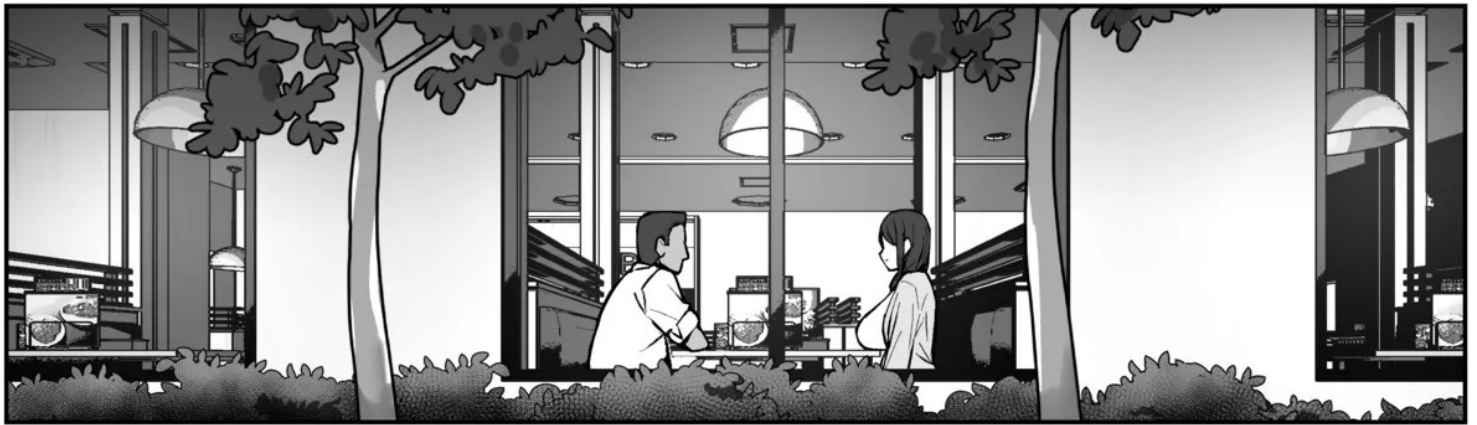
っ…

大人になったら
幸せにするね！

ちひろが
元気なら幸せよ

もお

ちひろ…
こんなお母さんで
ごめんなさい…



相変わらず
お綺麗ですね…

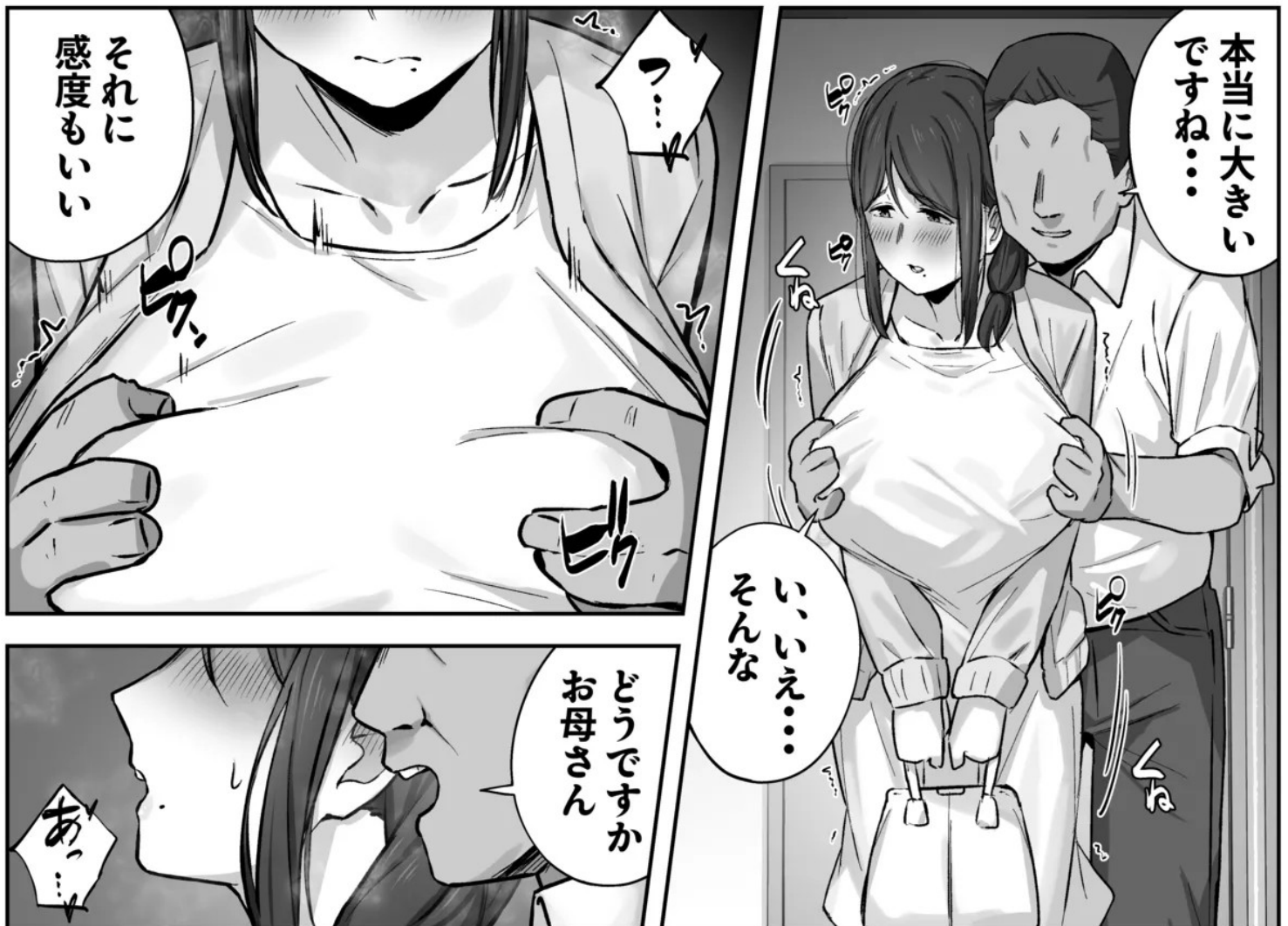
いいえ
そんなこと…

301

用途 常

…

ニヤハ



まだちょっと
触っただけなのに
すごい発情具合
ですねえ

…そ
そんなことは

ほお…
そうですか

…そうですよね

ちひろちゃんのために
仕方なくですもんね

それはさぞ
お辛いでしょう

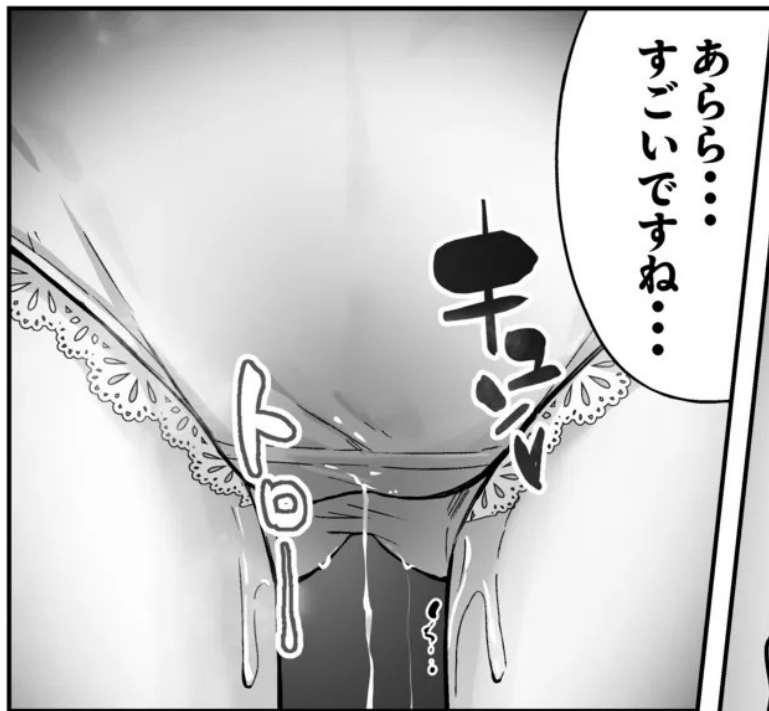
お母さん！

ニャ
スカートを
たくし上げて
見せて下さい

早く

…

…



あらら…
すごいですね…



これは…

違うんです…



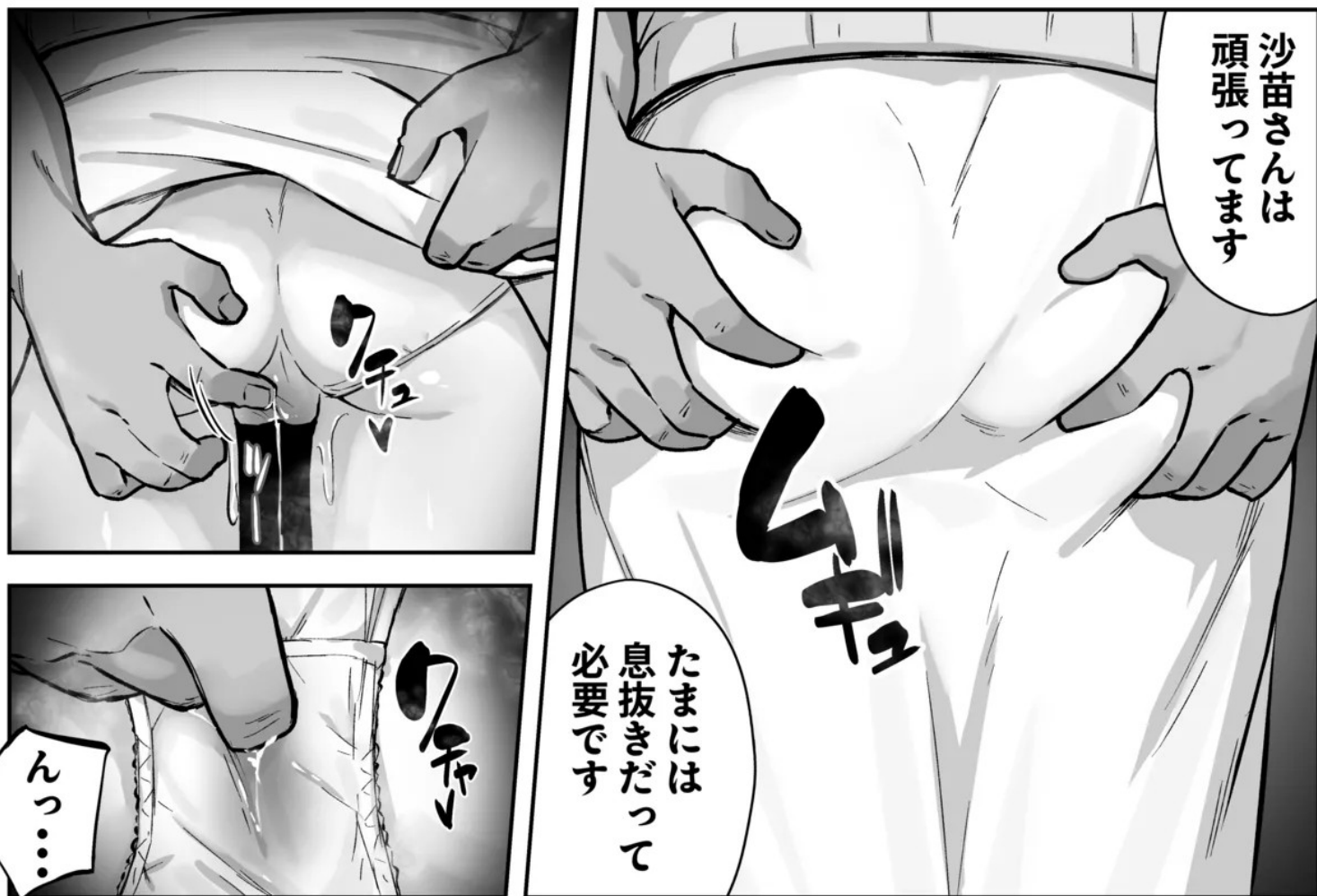
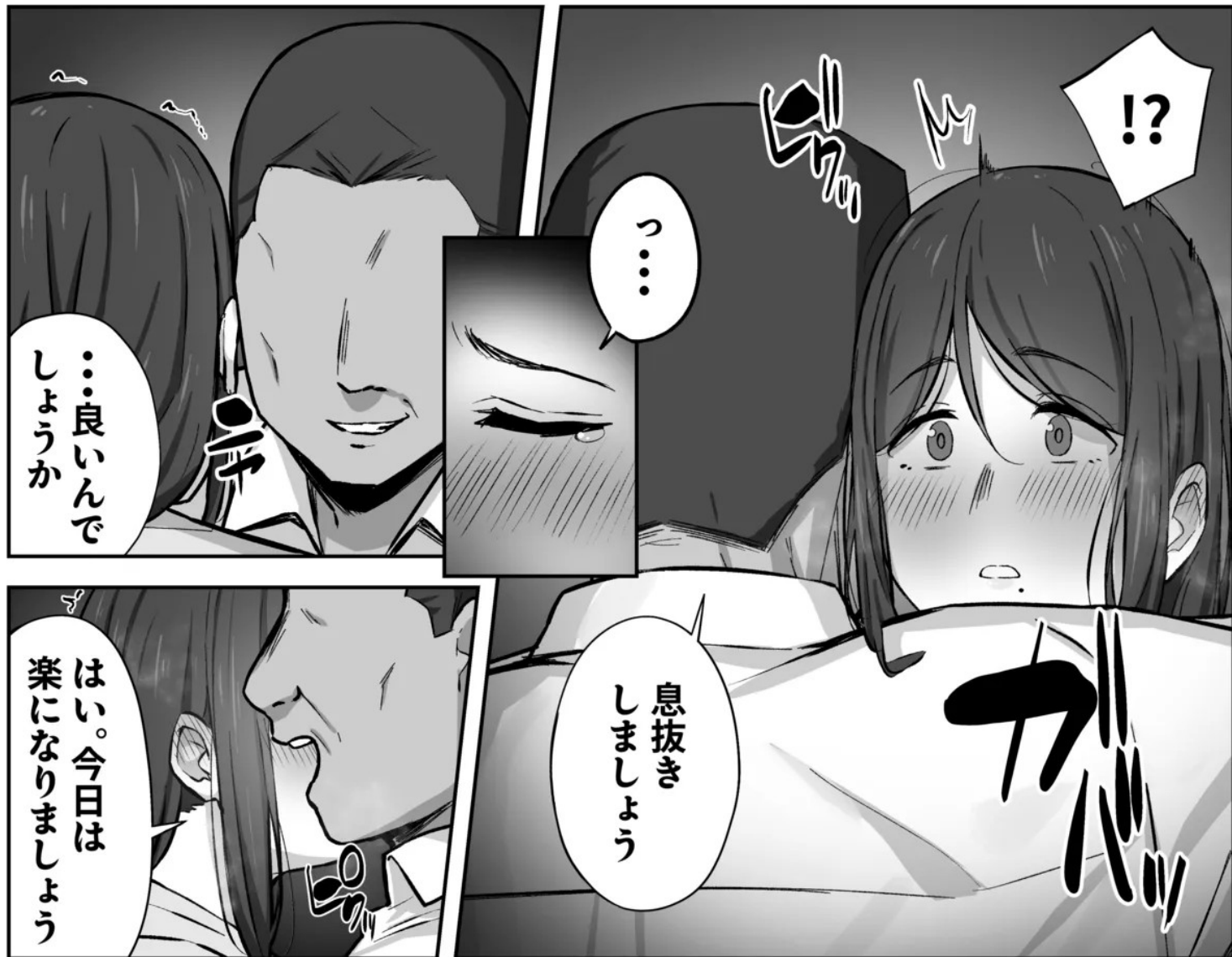
いいじゃないですか
お母さん…

あなたはいつも
ちひろちゃんのため
に頑張ってる

たまには羽目を
外して好きにして
いいんですよ

沙苗さん
あなたも一人の
女性なんですから







見せてください

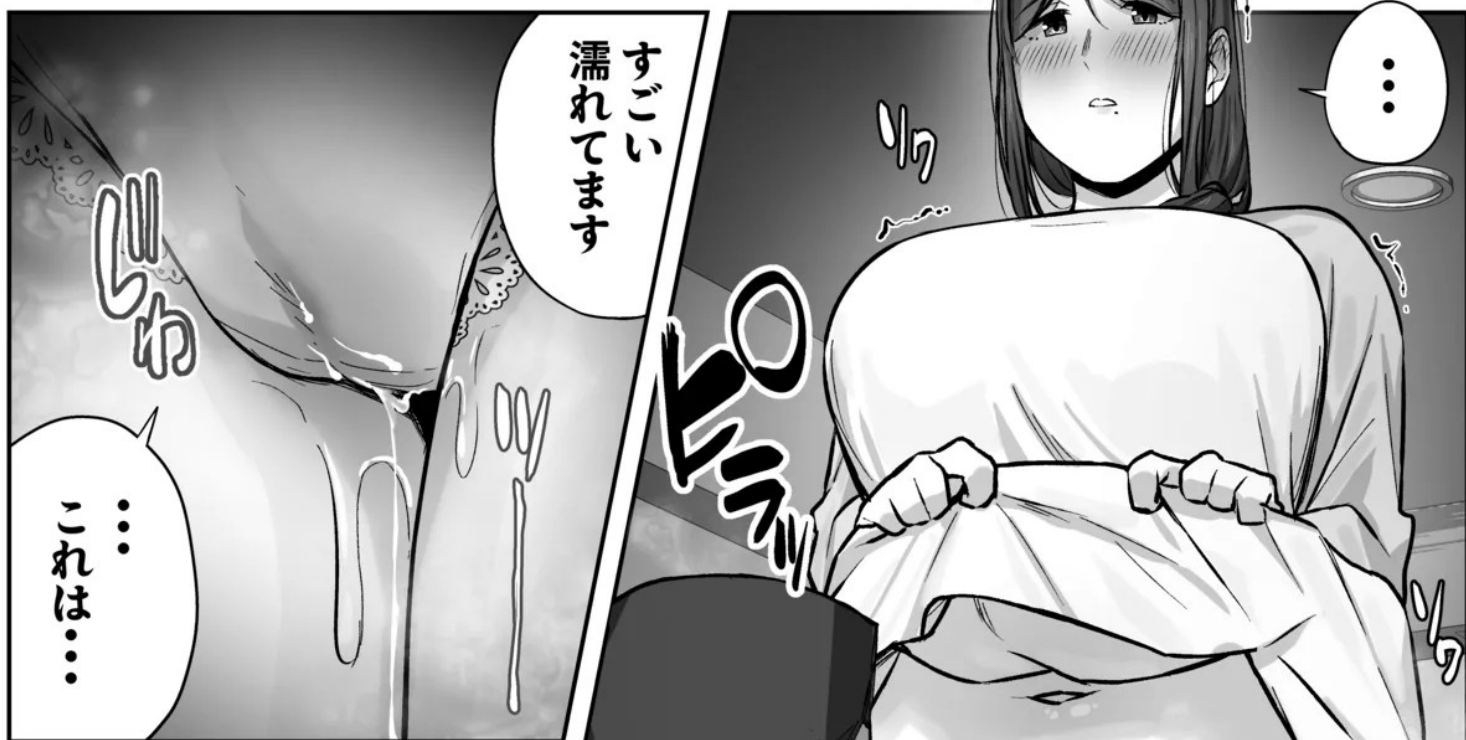
…はい



?



パンツ…
すごいですね…



すごい
濡れてます

いっわ

…
これは…



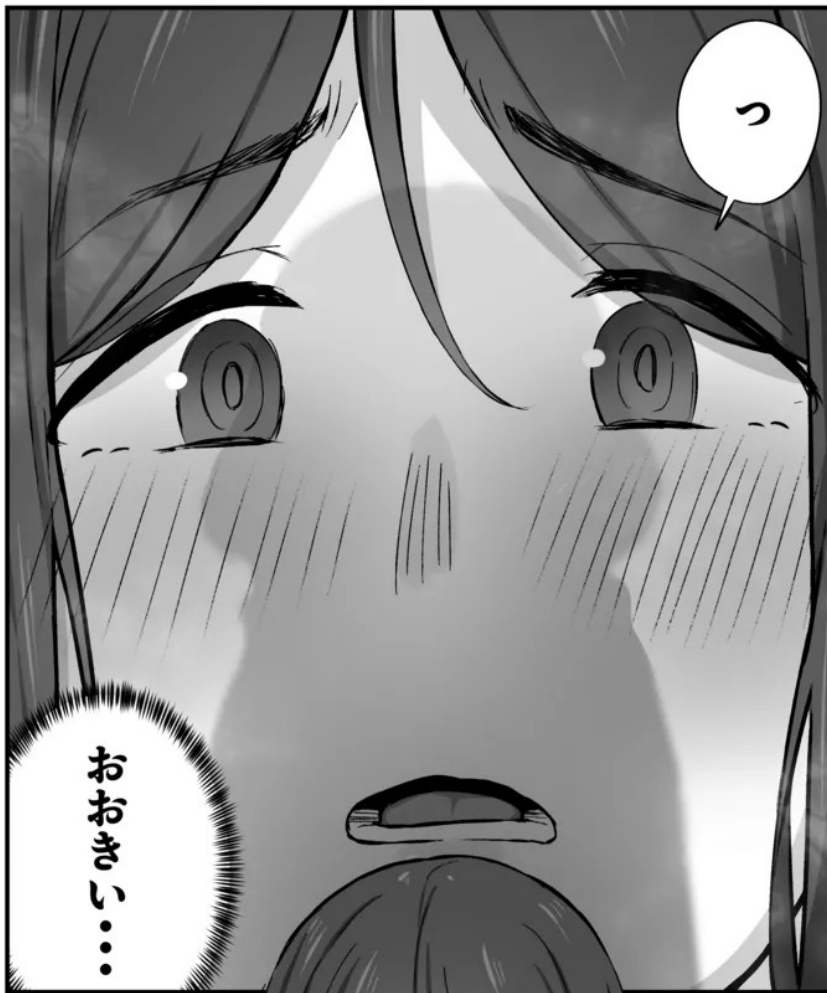
んっ…

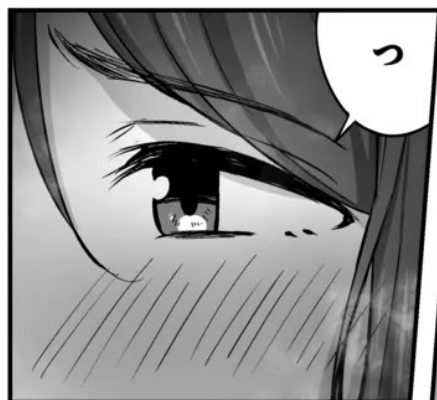
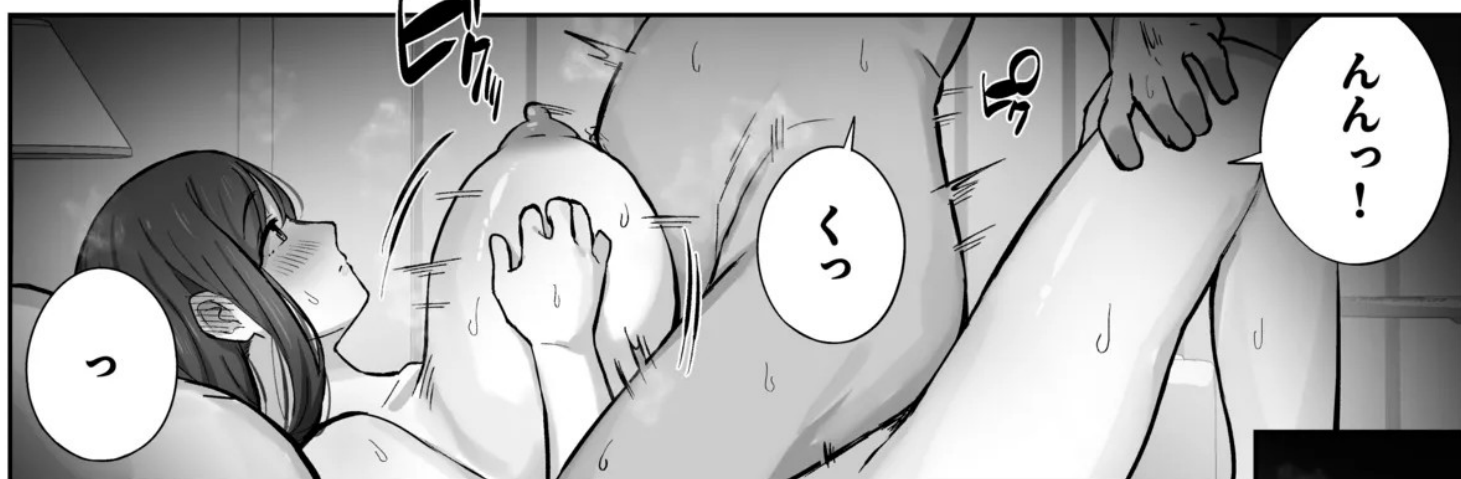
スェー

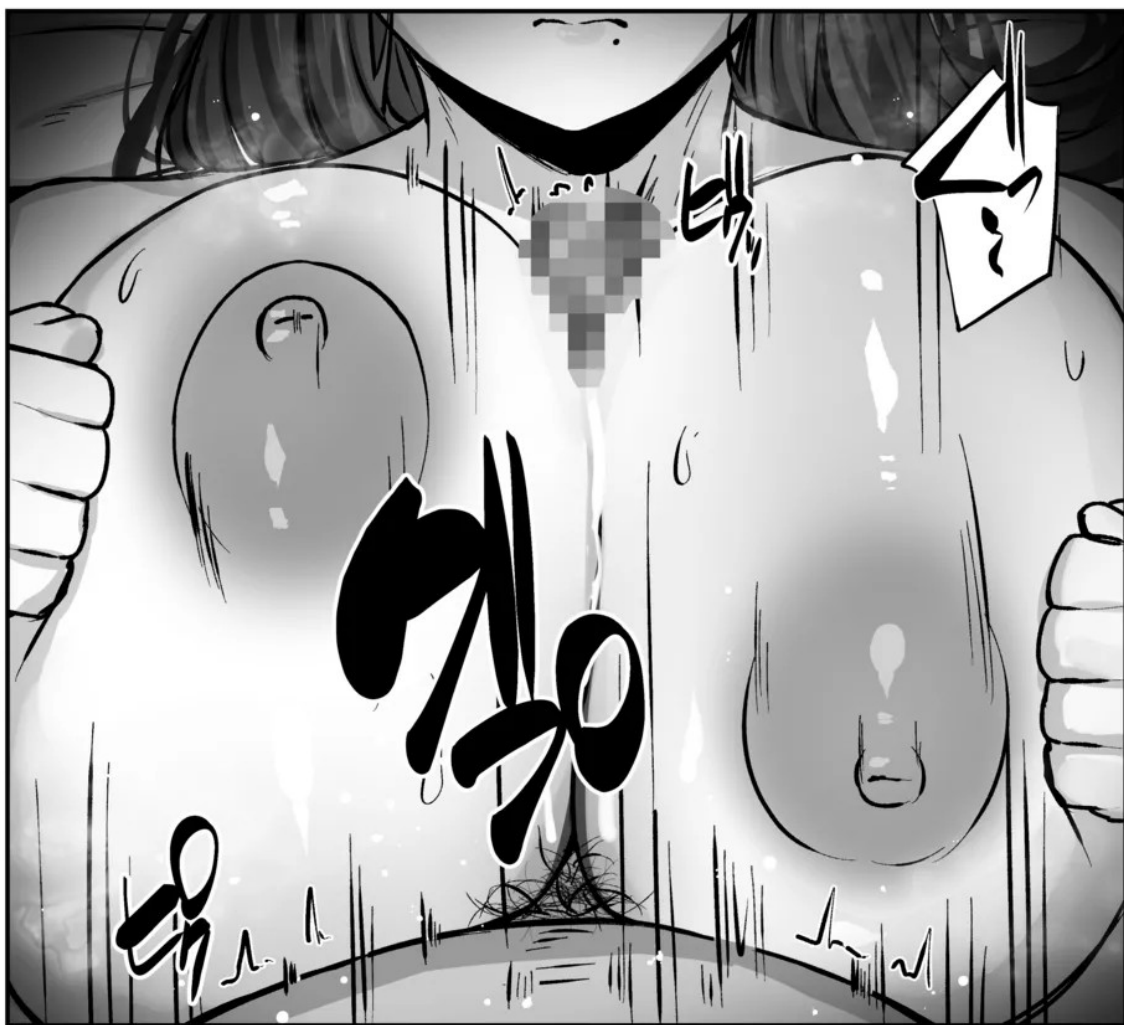




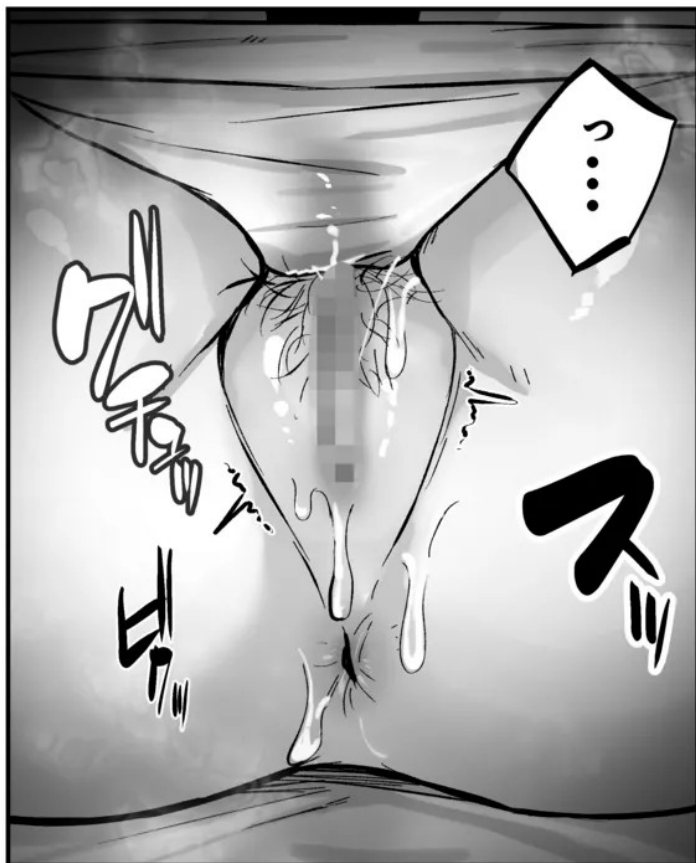
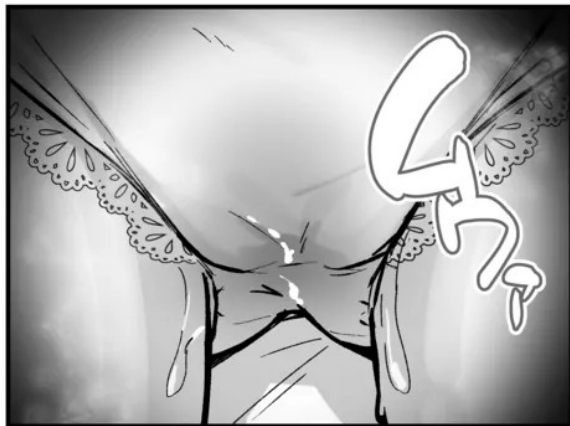
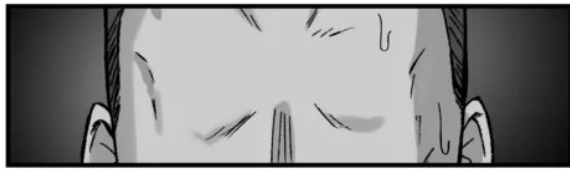




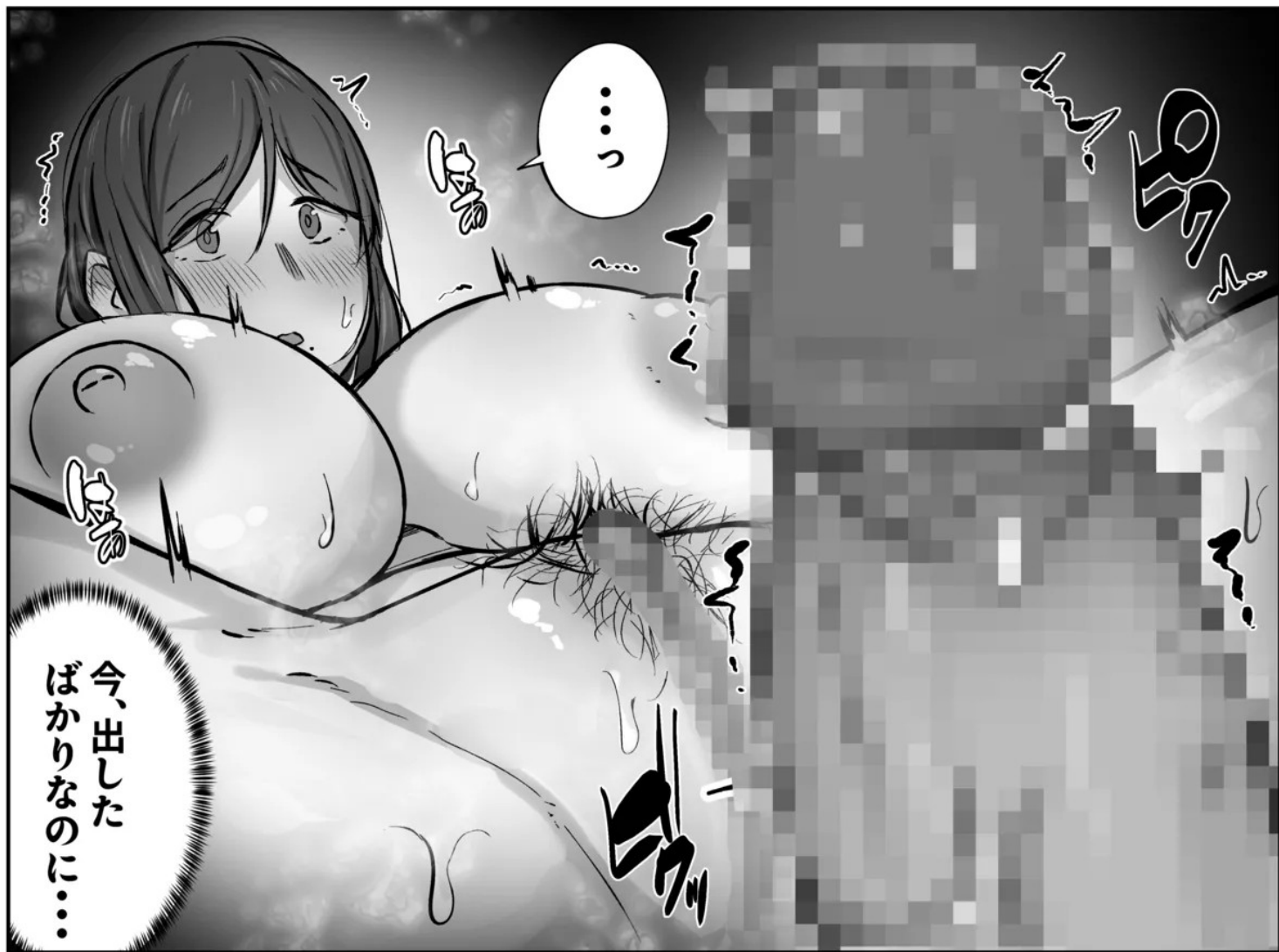




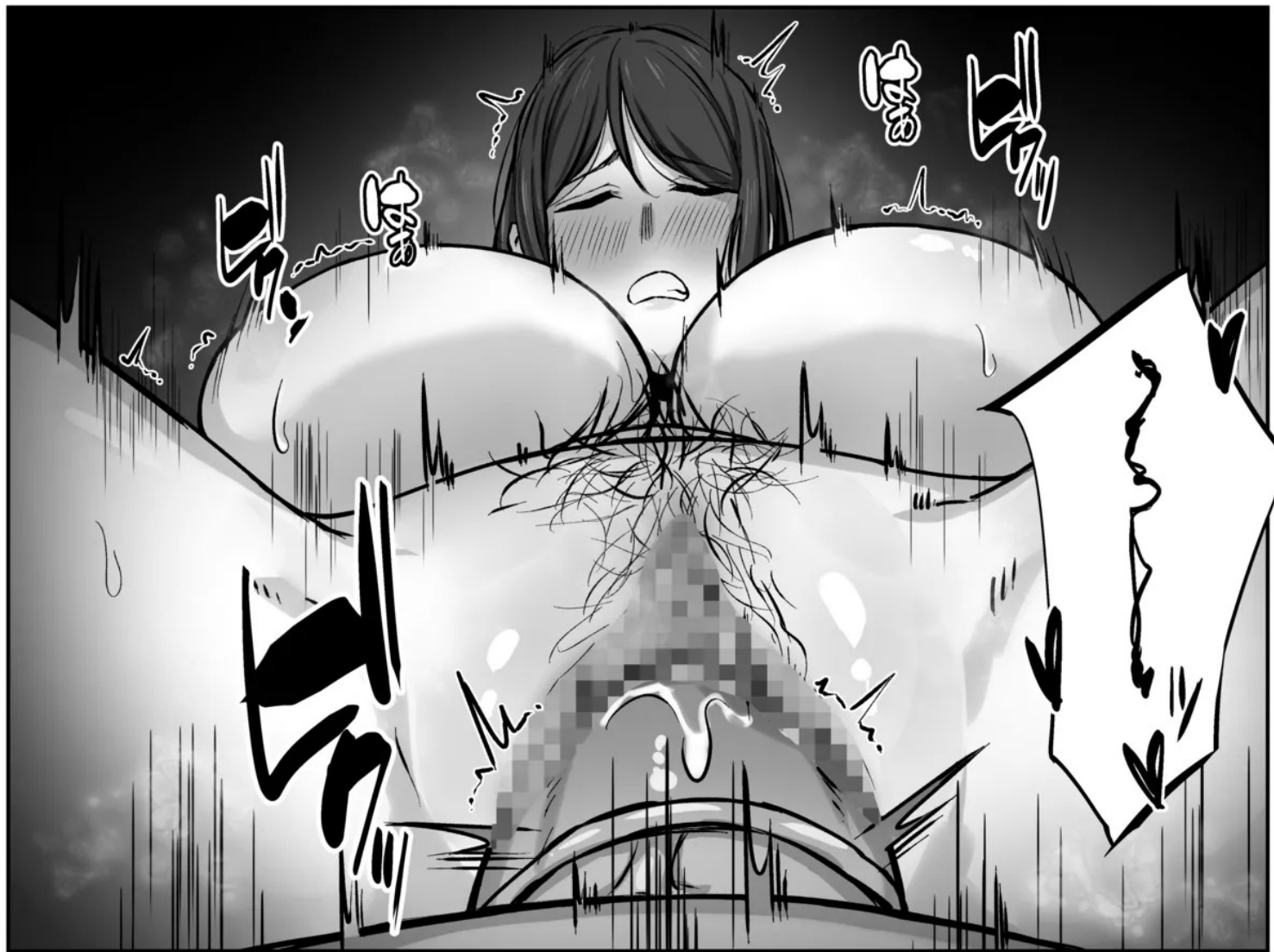






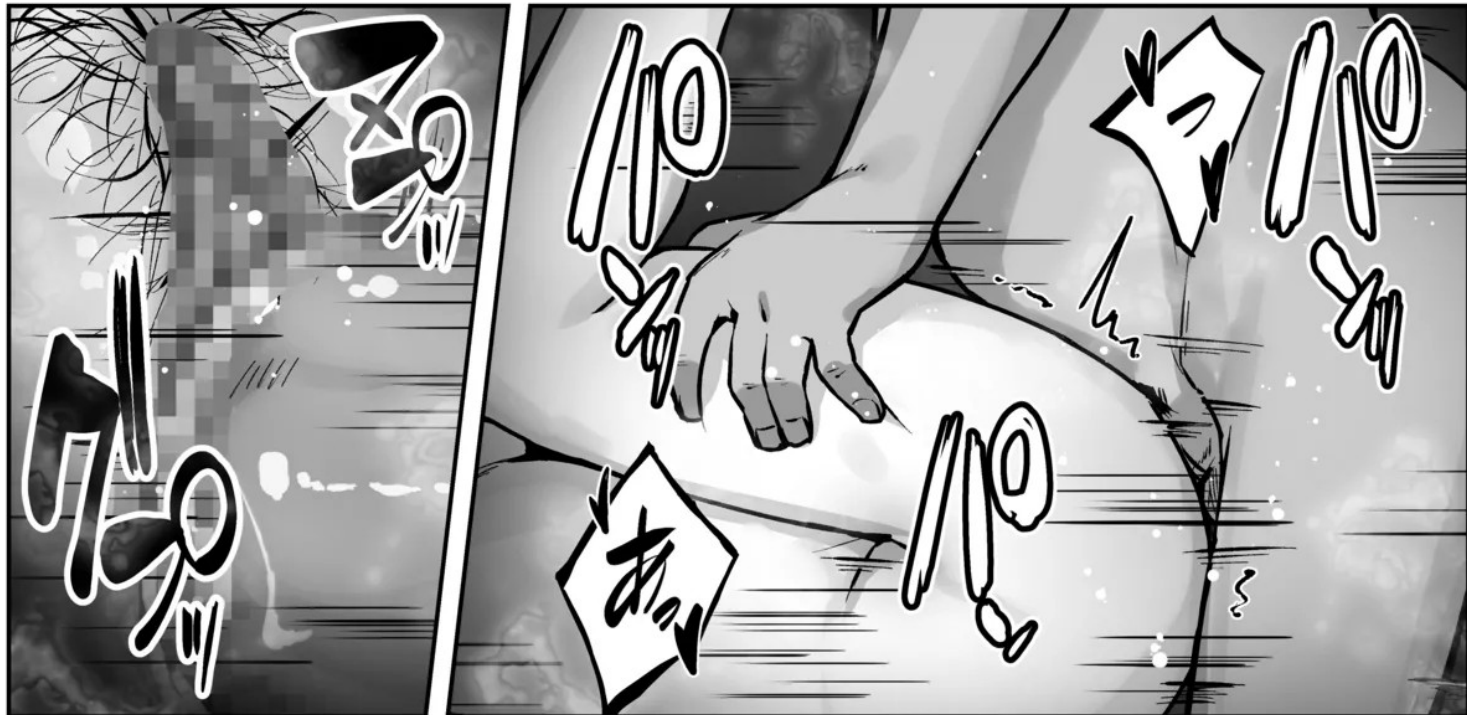


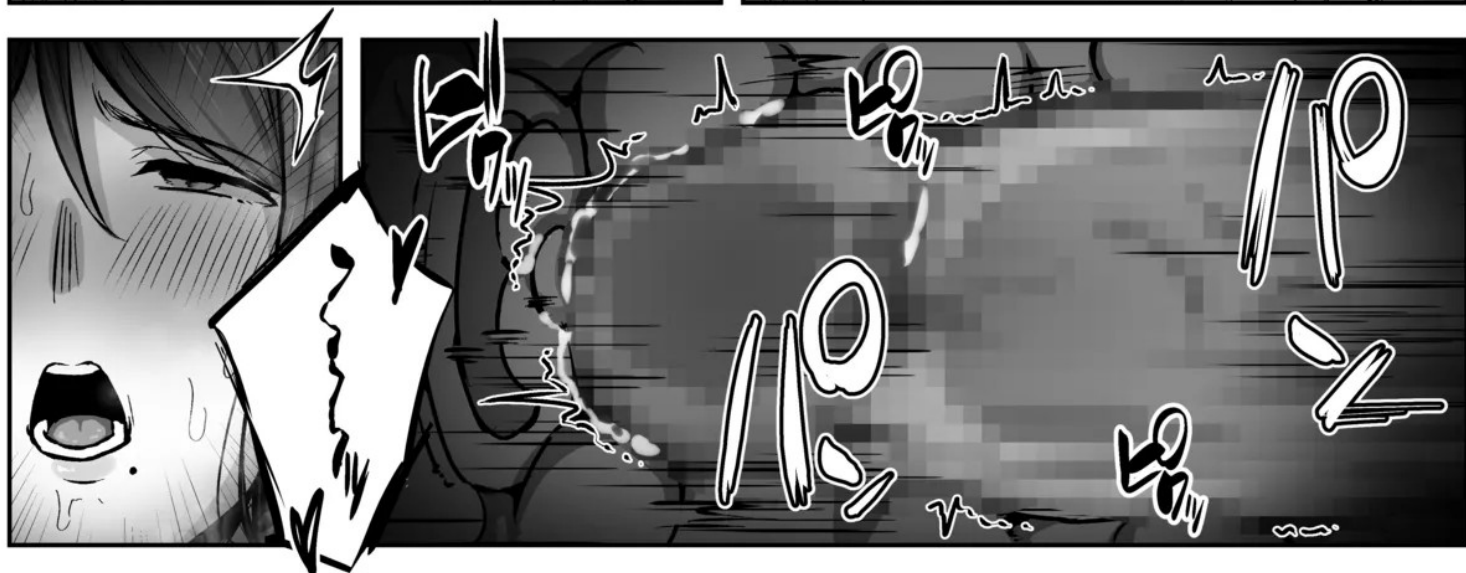














その日以来
何かが壊れた。

あぁっ

事あるごとに
お金を口実に
この人と会っている

長年忘れていた
快感を求めて…

んっ

あんっ

あぁっ

はっ

あっ

あんっ

はぁ

はぁ

402

最近お母さんの
帰りが遅い

やっぱり無理
してるのかな…

今日はお母さんの
誕生日

日頃の感謝を返すため
早く帰ってお祝いする
…はずだった。

ただいま…

あれ…

お母さん
帰ってる

サプライズ
したかったのに…

…
っていうか

この音
何だろう…

…この靴
誰のだろう？

お母さん
…？

そこには……
私の知らない
お母さんがいた……



裸で激しく乱れて
喘ぎ声を上げている。



普段のおとなしい
母からは想像できない姿
聞いたことのない声……



そんな光景から
目が離せなかった

そして同時に
気づいた……

私のせいだと

お母さん…

ごめんなさい…

でもなんで…
こんなに

ドキドキ
するんだろう…

んっ…



私…
最低だ…



